

証言

弟子たちの証言

イエスさまの死後、元気をとりもどした弟子たちは、あちらこちらへ出かけて、イエスさまのことを伝えはじめました。弟子たちはどんなことを伝えようとしていたのでしょうか。

使徒言行録の中に、ペトロの説教が伝えられています。ペトロのように、弟子たちは、イエスさまの復活を告げ知らせ、人びとに向かって回心するように求めていました。

だれも、イエスさまの復活について、証明してみせることはできませんでした。しかし、弟子たちは、そのできごとの証人として、うったえつづけました。弟子たちの証言によつて、人びとは、イエスさまの死がむだ死にはなかったことを知りました。イエスさまは、いまま弟子たちを力づけ、働いていることに気づきました。

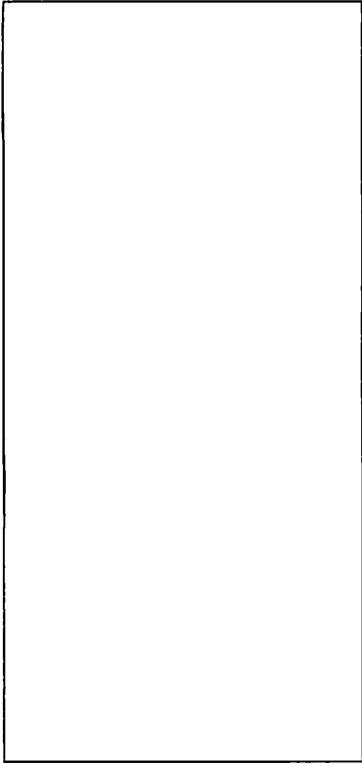
いま生きている証言

弟子たちの証言は過去のもとなり、聖書にそれが伝えられています。しかし、いまま証言する人がい

ます。それは、キリスト者として、いまの社会の中で、イエスさまの示された方向に歩みつづけている人たちです。

みなさんも、自分が大切になっていることを、証言してみませんか。自分が大切になっていることを、次の

空白に書いて下さい。



たしかに、その日を楽しく過ごし、自分のことだけ考えて生きていけば、苦労しなくてすみます。しかし、苦しいけれど、仲間とともに歩み、一人ひとりの人間を大切にしていこうという生き方には価値があります。

